

インターバンクの声（2016年2月19日）

昨夜のロンドン市場の早朝は、欧州中央銀行（ECB）が3月に追加緩和に踏み切るとの観測がさらに広がり、ユーロはなかなか買い難い状況だった。ただ、原油価格が安定していたことや欧州株がプラス圏で動いていたことからリスク回避姿勢が緩み、ドル円などは113円60銭辺りから一旦114円台に持ち直し、このままニューヨーク市場でも落ち着いた値動きになるかと思われた。米新規失業保険申請件数も市場予想よりも良い結果で、後は株価が4連騰にでもなればドル買いが強まってもおかしくなかったが、そうは問屋が卸さなかった。久々に聞いた気もした社名だったが、小売りのウォルマート・ストアーズの値下がりが大きく、製薬、衛星放送会社などの減益などもあって4連騰が阻止された。どうもニューヨーク・ダウが下がって来ると明日の日経平均株価の値下がりやを連想してしまうようで、米金利の低下も加わってしまえばドル円もじり安の流れだ。週末の東京市場は1週間ぶりの112円台に逆戻りの展開もあるかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。